

1. 事業名： 笑顔がふえる 親子で育つ 自主保育の仕組みづくり

2. 実施団体： 子育てサポート「スマイル」

3. 協働担当課： 美作県民局健康福祉部福祉振興課（子育て支援班）

4. 事業概要

地域と連携しながら民間主導で、安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、保護者同士で子育てをサポートする体制を構築し、その運営を地域及び保護者が自主的・自立的に行うための自主保育の仕組みづくりを行い、継続した運営を目指すことで、子育て支援の輪を広げ、安心して子育てができる地域づくりを目指します。

- ・保護者が主体となって、就学前の子どもを保育しあう場である「プレイセンター」を開設し、運営していく「自主保育」の仕組みづくりを行う。
- ・自主保育への理解を深めてもらうために、広く自主保育について学ぶセミナー「みんなで子育てセミナー」を開催し、参加者・協力者の輪を広げる。
- ・自主保育での運営を検証するワークショップ「みんなで検証ワークショップ」を開催し、運営に生かすとともに、育児力強化のための学習会を開催する。

5. 実施内容

●自主保育「たけの子」の運営

保護者が主体的に子どもを保育しあう場であるニュージーランドのプレイセンターを参考にして、自主保育「たけの子」を週1回火曜日の午前中に運営しています。家庭的な雰囲気の中で子どもが自ら遊び、学びあえる場を目標に、遊び込める、わかりあえる、助け合う、役割をもつ、自分の場所になる！をキーワードに活動責任者（保育士1名）と保護者同士が協力しあって保育を行います。活動の終わりにその日のふりかえりを行い、子どもの成長記録を記入します。月1回の全体でのふりかえりの会で報告、共有します。また、月1回のふりかえりまでに細かな気づきを忘れないために「気づきのメモ帳」を導入、保護者1人ひとりが書き留めるよう改善しました。これにより子どもの様子や活動中の関わりが具体的に報告できるようになりました。しかし、週1回の活動では、子どもの年齢的にも安定したモチベーションを保ちづらく、場に慣れたころには活動が終了する、1週間後にはまた初めから関係をつくっていく時間が必要になる、など課題も見えました。

【午前の部】

場 所：子育て等支援施設なぎチャイルドホーム（多目的室）

参加人数：対象児 2歳半～就園前の子ども 15名

※付き添いの兄弟 3名

世帯数 13世帯（H29.3月現在）

活動日数：毎週火曜日（月4回程度）

※月1回ふりかえりの会

活動内容：9：00～9：20 集合、環境設定

9：20～11：30 コーナー遊び（ままごと、ねんど、お絵かき、積み木等）、外遊び、ごっこ遊び、造形遊び、おやつ（軽食）等

11：30～11：50 片付け、ふりかえり

12：00 おわりの遊びうた、解散

運営体制：保育責任者（保育士）1名 保育ママ（保護者）3名

【午後の部】

場 所：子育て等支援施設なぎチャイルドホーム（9月～12月）

奈義町立中央東幼稚園・奈義町立滝川つくし幼稚園（1月～2月）

参加人数：対象児 未就園児～園児 11回述べ82名参加（子ども）

運営体制：保育責任者（保育士）1名／補助スタッフ 1名

※9月～12月まで毎月2回程度、チャイルドホームを会場に行いましたが、幼稚園の後での活動は、それぞれの過ごし方が多様で、親子のニーズとのズレが課題でした。1月～2月は幼稚園との連携で幼稚園開放日にあわせて試験的に開催しました。

※運営を検証した結果、

- ・幼稚園が終わってからの時間に集団生活はあまり必要性を感じない。
- ・午後は家庭でゆっくり過ごしたい。
- ・子ども同士がお友達と遊ぶ約束をしているため参加できない。

などの理由により、親子のニーズがあまりないことが分かったので、次年度は、午後の活動は行わないこととなりました。

●みんなで検証ワークショップ

アドバイザー：新見公立短期大学幼児教育学科 三好年江教授

本格的な活動をスタートした7月、9月、10月を終えて1回、その後12月、3月の合計3回開催。先進的な子育て支援の現場をもち、幼児教育学部学生や保育士の育成に関わられておられる三好先生、美作県民局担当者、チャイルドホームスタッフを交えながら、当事者のお母さんたちとワークショップを開催しました。

1回目 10月28日（金）10時～13時

内 容：事業の概要、ふりかえりシートや活動内容の検証、今後の事業展開について相談しました。記録（ふりかえりシート）の公開、子どもの発達段階をふまえた方向性と環境づくりによるゆるやかな質の向上について再確認できました。

参加者：8名

2回目 12月9日（金） 10時～13時

内 容：たけの子活動を検証（活動時間、回数、年齢、人数、内容）

お母さん達を中心にポストイットの書き出しによる手法で、活動内容を検証しました。それぞれの思いを出し合う中で、課題に対する取り組み方を話し合いました。

あそび場のいくつかのパターンをもつことで外遊びの充実させていくこと、見通しがもてる場所の工夫や遊びの要素を取り入れたお片付けへの誘導が話題となりました。

参加者：18名 ※子どもの見守り託児スタッフ2名

3回目 3月14日(火) 10時~13時

内容：子どもの遊びを体験しよう！（フィンガーペイントで子どもの遊ぶ！を学ぼう）

…大人のワークショップ（保護者向け）

子ども達は、見守りスタッフと共に、園庭での外遊びや園外へお散歩にでました。

現在、子育て中の保護者は、遊びの体験が少なくなっている世代です。さらに育児中には、親の責任感が邪魔して自ら遊んだり、楽しんだりする機会が持ちづらく、忘れてしまいがちです。子どもを見守るときに大切な「共感」を、体験を通して学んでもらう機会をつくり、体験&講話の中で、子どもの“遊ぶ”を学ぶワークショップを開きました。子どもの「初めて」に出会うペースや好みの個人差を理解し、子どもの気持ちに共感しながら、一緒に遊ぶことの意味を確認しました。

※お母さん達の感想

- ・自分の人生ではじめての経験かも？一人で考えたり、自分が遊ぶ時間だった。
- ・絵どころがなくて、ただグルグル手を動かした。気持ちよかった。
- ・机に書く！やっちゃいけないことをやる楽しさ、子どもの気持ちがわかった。
- ・絵の具の表現がおもしろかった。もっと遊びたいと思った。ストレス発散できた。
- ・最初、抵抗があった。絵に苦手感を持っていて、描くことに悩んだ。

参加者：21名 ※見守り託児スタッフ7名

●みんなで子育てセミナー

子育て世代を中心とした方々に、自主保育（プレイセンター）について理解していただくことを目的に、白梅学園大学学園長の汐見稔幸先生を講師に迎え、子育ての本質と親の役目について自らの育児経験も交えながら、講演をしていただきました。講演終了後、講師とお母さんたちとの子育てミニトークも行いました。当事者のお母さん方を中心に企画運営し、奈義町、こども長寿課、教育委員会、町内幼稚園、保育園の協力をいただくことで、子育て中のお母さんが参加しやすい体制が作られました。また、美作県民局担当課が管内市町村や保育園・幼稚園をはじめ、広く県内の子育て支援施設等に周知・広報を実施したことで、奈義町内外から多くの子育て支援・幼児教育関係者の方に参加していただくことができました。同伴の子ども連れのお母さんが会場にたくさんいる講演会は、お母さん自身の聞き取りづらさなど課題が残りましたが、多くの来場者の温かい賛同を得ることができてよかったです。セミナー開催を通じて、日頃の育児とはまた違う社会参画の場となり、自主保育の活動に関わるお母さんたちやスタッフの自信にもつながりました。

開催の概要：11月29日(火) 「子育ては真剣勝負！だからおもしろい」

～子どもも大人も育ちあう時間は、人生のたいせつな贈り物～

講師：汐見稔幸先生

(白梅学園大学学長、東京大学名誉教授)

13:30~15:30 講演

15:50~16:30 子育てミニトーク

参加者：134名(会場内 同伴の乳幼児15名)

託児：25名(園児2名・乳幼児23名)

託児スタッフ：9名

アンケート：80枚回収(別紙参照)

6. 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

- 家庭保育の子どもが集団生活にふれる機会を創りだした。
活動をしていく中で、子ども同士に仲間意識が生まれ、活動を楽しみにする姿、遊びを工夫したり、助け合ったりする姿がみられ、この場が自分の居場所になっている。
- 家庭（保護者）の育児力強化や子育ての負担軽減が図られた。
保護者にも育児仲間ができ、自分の子どもだけでなく、他の子どもへの目配りをする経験を通じて、子どもの育ちや遊びへの理解が深まった。主体的に子育てを支え合い、親自身が育児力をつける環境となっている。また、子どもと離れる非当番日の時間が、家庭にゆとりをつくりだす効果があることが実感できた。
- 子どもと共に育つ時間を重視した家庭保育の選択肢となった。
チャイルドホームを拠点に活動することで、施設利用者にも子ども達の様子がわかりやすく、興味をもって、自ら体験を希望される親子さんが増えている。
- 保護者自身の社会性を磨く機会となり、子育てへの自信が高まった。
活動のふりかえりやワークショップを通じて、他者の子育てに感にふれ、子どもの発達や遊びを知り、自分の子育てや我が子への見方が変わった。

(2) 今後の課題

- 自主保育の運営の仕組みづくりはできてきたが、活動の中で、今後は自主保育活動における保育の質を向上させるための仕組みづくりが必要であり、さらには、自主保育活動を通じて、子育て中のお母さんが無理なく社会参加できる体制づくりをすることが必要であると感じている。
- 自主保育への理解を広めていくため、情報発信する必要があり、そのための手段を構築していくことが課題である。

7. 県民局と協働した効果及び課題

- 専門家の方とのつながりや助言をいただける事業となった。
担当課の方と相談を重ねる中で、地域のサークル活動にとどまるのではなく、広い視野と外部からの視点を併せ持ちながら活動を進めることができ、安心して事業を行うことができた。
- 公益性、広域性をもつ事業として広く活動を知らせることができた。
子育てセミナー講師をはじめ、開催の方法、準備、会場や手続きなど、セミナー開催に伴う詳細を担当課の方に相談したことで、スムーズに運営することができた。また、広く管内市町村や県内の子育て支援拠点・幼児教育関係施設等へのセミナーの案内に尽力いただいたことで、県内各地からたくさんの関係者の方の参加があった。結果、自主保育の取り組みや事業への関心を高めることとなった。
- 継続して事業を実施したいと考えているが、新しい子育て支援の取り組みであり、地域に定着するためにはまだ時間がかかると思われる。美作県民局の補助がない場合でも、自主保育の取り組みを安定して行うことができるようになるための方法を考えることは、今後の課題である。

●活動報告

☆自主保育「たけの子」



くろぼこの畑の土に触れてたくさん遊びました。



さまざまな段ボールを思い思いに使って遊びました。



自分たちで好きな場所を選んでおにぎりを食べています。

☆検証ワーク



初体験のペイント遊び、まずは大人が楽しみました。

☆子育てセミナー



企画、運営と協力しあった思い出深いセミナーになりました。



汐見先生との子育てミニトークでは心が軽くなりました。



子育てセミナー

子育ては真剣勝負！だからおもしろい

～アンケート集計（80枚回収）～

性別	1. 男性	8名	2. 女性	72名		
年齢	1. 20代	7名	2. 30代	29名	3. 40代	21名
	4. 50代	14名	5. 60代以上	8名		
お立場	1. 子育て中の方	40名	2. 子育て支援者	7名		
	3. 保育機関職員	24名	4. 行政関係者	8名		
	5. 一般	3名	6. その他	4名		

- ① 本日のセミナーはどこで知りましたか？（複数回答あり）
- | | | | |
|-------------|-----|-----------------|-----|
| 1. 友人・知人から | 11名 | 2. 市町村役場(保健師など) | 19名 |
| 3. 保育園・幼稚園等 | 16名 | 4. 子育て支援拠点 | 29名 |
| 5. 県のHP・新聞 | 3名 | 6. ラジオ等 | 2名 |
| 7. その他 | 1名 | | |
- ② ニュージーランドの「プレイセンター」について、お尋ねします。
1. 知っていた 2名
（・名前を聞いたことがあった 11名 ・内容を知っている 2名）
2. 初めて知った 62名
- ③ 「自主保育」についてお尋ねします。
- | | | | |
|--------------------|-----|-------------|-----|
| 1. 参加または取り組みをしてみたい | 5名 | 2. 興味・関心がある | 58名 |
| 3. よくわからない | 10名 | 4. その他 | 5名 |

★講演の内容であなたが一番印象に残ったことを教えてください。

・子どもの弱点にみえるところは、違った方向から見ると良さでもあること。子どもを善く見ようと思いました。自然の中で子ども達が自分で考えながら遊ぶのはとっても良いこと。

・仕事と家庭を両立させるのは難しい。父は土日だけではいけない。母と一緒に考え、悩み色々な事をしていく。土日だけ遊んだり、お風呂にいれたりしてはダメ。おいしい所ばかりではなく、できることは一緒にしていく。信じれば伸びる！！子どもを善くみることが大切。

・生活の工夫も子育ても、昔の生活や知恵を大切にしたいと思いました。暮らしやすい世の中、不自由のない生活が当たり前になってきているが、逆にそれが子どもの力や発達のさまたげになっていることを改めて認識させられました。又、家庭生活の中で育てていく事、これから意識していきたいと思います。

・善くみる。短所を責めずに長所を集める。

・ピグマリオン効果のお話良かったです。よく考えさせられました。

・ピグマリオン効果、なるほどと思いました。期待すること、信じるのが大切なのだと改めて感じられました。内容ではありませんが、赤ちゃんの声がする講演会、とても素敵でした。これからも奈義の子、大切に育ててください。

・ピグマリオン効果。接し方、心の持ち方で変化する。

・子どもを善くみてやること、それを伸ばしてやる。子どもを信じて環境をつくってやること。

・ピグマリオン効果で、好き嫌いの多い次男に「ちょっとの栄養でも平気ですごい！」と言ってやれるなあとワクワクしています。育児書を何冊読んでもよくわからなかった「ほめ方、しかり方」が具体的で納得できた。

・ありがとうございました。

・子どもを善くみることが大切。子どもを信じる。群れて育てる。子どもは自分で育っていく。

・〇〇したい、〇〇やってみたいと思う環境と安心感を子どもに与えて「しっかり遊ぶ」ことを大切にしていきたい。本物に触れ、いろんなことを感じてほしい。子どもを信じて育てていきたい！！

・「ほめることはその子らしさを見つけてやる」ということ。ほめ方、しかり方にルールがあるということ。

・ありがとうございました。とても良かったです。そうですね、と思うことが多かった。子ども達の教育の変化、何でそう思うの？というコミュニケーション。アートをベースにした学力、感情を洗練させていく。

・コーチングについて、子育てのみならず対人関係すべてに応用できると思う。子育てもコミュニケーション能力をつけることが大切なのだと思います。よい講演会を企画してもらい、ありがとうございました。奈義町はよい町そうですね。

・高校生の息子が悩んでいます。もう一度、自分をみつめなおして息子と向きあってみたいと思います。ありがとうございました。

・短所は長所になるという話。

・ほめ方、しかり方のルール。その子らしさをよく見て接していきたいと思いました。

・子どもを善く見ることが大切。

・ほめる＝個性を見つけること。見方を変えればいい。“子どものいいところ20個”。わかっているけどなかなかできないなあ、できていないなあと感じました。改めて子どもを見つめ直すいい機会になりました。

・子どもを善く見る。夫婦で子どものよいところを20個あげたいと思います。

・豊かな遊びが大切で、これからの時代に必要なのはコミュニケーション力であること。

・遊びを発展する力が重要だということ。

・ほめること、叱ること。文化、文明について。大切だとわかっているけれど、実際にできていないと反省するきっかけとなりました。ありがとうございました。

・子どもの事ちゃんとみているつもりだったけど短所ばかり目がいったと思います。子ども)事を信じて善くみようとしました。

・「父子手帖」あるといいですね。弱点をつつくのではなく長所として見る。ワイガヤの子育て＝チャイルドホームですね。ピグマリオン効果、信じる心、子どもを信じてのばす。

・やる気を育てる。環境を整えることの大切さを軸に取り組みたいと思う。

・自分も3人の子育てをしましたが、あまり子育てに参加してませんでした。先生のおっしゃられたことを孫育てに役立てることができるかどうか。見方を変えていいところを見ていくことが大事なんだなと。つつい他と比較して見てしまう。反省です。

・子どもを「善く」見るという言葉。

・今回の講演で印象に残ったことは子どもを善く見るということです。子どもの良い部分を周りが見つけ、信じることで子どもの自信につながるということは、とても大切なことだと思います。できない部分をそのままダメだと思うのではなく、良い方に考えを変えていくことに気をつ

けていきたいと思います。ありがとうございました。

・親は子どものコーチ役。子どもの個性を大切にのびしながら親子で楽しく子育てできたらいいなと思いました。勉強ばかりができて今の中、生き抜いていけないんですね。どう自分で考えて生き抜いていけるかが、これからは大切なんですね。

・“性格も見る方向をかえれば、長所にも短所にもなる”ということ。できていない所に目が行ってしまいがちなのが母親であり、保育者であるが、できている所に目を向け認めていこう。いつも念頭にはありますが、一生懸命になればなるほど、大切に思えば思うほど力が入り、子どもにとって良くない行動をとっていたのかも…と自分を振りかえる機会になりました。まず自分から変わろう。そうすれば何かは違ってきますよね。もっと聞いていたかったです。

・子どもを善く見る。自主保育の意義。

・子どものよいところを具体的に20あげるところ。

・子どもの立場に立つこと。

・子どもを善くみる。

・子どもが自分で考えて挑戦するのを安心して見守れるように、どんどんトライできる環境を整えることが大切であるということ。(直接、考える。危ないことは注意してやめさせる事が多いため)

・自らがもっている力の伸ばし方。環境のあり方。経験に基づいたお話。

・「善い所を見つける」ということ。頭では分かっているけれど、つつい何で？と悩んでしまうことが多いけれど、良い塾や環境を探すよりも、私の思考をポジティブに変えていくことの方が大切だと改めて気づかされました。今日は貴重なお話ありがとうございました。

・楽しくてとてもわかりやすいお話で、あっという間の2時間でした。コーチングについて大変、勉強になりました。ありがとうございました。

・本気で子どもを見ていたか…と考えさせられた。安心感を与えられる言葉がけができるように…。

・子どもを善く見ていく、弱点を見るのではなく、長所を見ていくようにすることが大切ということを改めて実感しました。家庭でのかわり方を反省させられました。少しでも自分を変えていけるようにしたいと思いました。

・物の見方を変える、ゆったりと子育てをするなど難しいですが、日々の保育の中で頑張りたいと思います。

・子育ては見守るだけではなく、環境をつくる…子どもと一緒に育つと思っていましたが、やはりそれだけではなく、大人として親としてやらなければならない事があるということを肝に命じました。でも子どもは自分で育つのですよね。うまくいえません、この気持ち。

・子どもをしかる時は性格のことをしかってはいけないこと。気を付けたいと思います。

・子どもが自分で自分を育てているというのは本当だなあと思いました。子どもが葛藤して育っていているので、育つ環境を用意してあげたいです。ありがとうございました。

・先生自身の子育て体験談がおもしろかったです。周りの子を見て、習いごとどうしようかと少し考えていたことが改めて違ったことに気づきました。毎日の積み重ねや遊びの体験が大切なことを学べてあたりまえのような毎日を大切にしようと思いました。

・ピグマリオン効果。伸びると信じた子どもが伸びていくということにハッとさせられました。子どもができない事に目を向けていたことに反省。

・ほめて育てる事は出来るのですが、しかり方が難しく思っていました、どうした方が良かったのかを伝える事は出来そうなので頑張りたいと思いました。

・「ワイガヤの子育て」親子広場を運営しているものです。ワイガヤ拠点として明日からまた頑張ります。

・ありがとうございました。“子どもも大人も育ちあう時間は人生のたいせつな贈り物”のサブテーマ、とてもステキでした!!本物に出会う大切さを実感しました。ありがとうございました。

・今ちょうど子育てに悩んでいる時で、少しのことですぐおこってしまっていました。個性を大切にすることを忘れないようにすること、性格を否定した叱り方をしないように心がけていきたいです。仕事もほどほどにしていこうと思います。ありがとうございました。とても素敵な話でした。

・自分で考えて行動させる子育てができていなかったのも、大人になってつまずいています。今からでも寄り添って考えて行動していきたいです。

・親の仕事は子どもが「生まれて良かった」と思ってもらえるようにする事。

・子どもが産まれてきてよかったと思える子育てをしていきたいと思いました。ありがとうございました。

・家庭や家族との生活の中で学ぶことが人生を深めるんだなと痛感しました。

・短所を指摘するのではなく、長所として見てみる事、難しいけれど子どものいいところ、具体的に20あげて今日から変わりたいです。そして楽しく子育て、子どもも安心感をもち、自信をつけて幸せに成長してもらってほしいと思います。

- ・子どもは自分で育っていく力があるから親は見守り、少し手伝うことで考え、育っていくということ。

- ・本当に我が子のことを一番に考え、生活できるようにしていきたいです。子どものことを信じ、子どもが自分らしく生きていけるように親として子育てを楽しみながら頑張っていきたいと思います。

- ・子育てをすることで自分も育つ。苦労だと思ったことはない、喜びの方が大きい。

- ・Play&Learn 生活の中で力はついていくということを心にとめて子育てをしていきたいと思いました。

- ・自分自身が楽しんで子どもが産んでくれてよかった。お父さんお母さんの子どもでよかったと思える子育てをしたいと思いました。

- ・ピグマリオン効果。

- ・汐見先生自身の子育て話。

- ・子ども達の良い所を見いだしてほめ、育てることの大切さ、みんな違ってみんないいところがあるんだ。日頃から子育ては親育てだと感じています。人生、死ぬまで勉強だと感じています。近所の若い人達のしゃべり場となれるようにと思っています。たけの子のこと、もっと知りたいです。